

News



FOR IMMEDIATE RELEASE

CONTACT: Rob Thibault
GS1 US Office: 609-620-4656
Mobile: 609-712-1558
rthibault@gs1us.org

ロゼッタネットの新しい技術情報管理標準は設計スペックの自動通信を可能にします。

標準を使うことによりビジネスプロセスを簡素化し、手作業とその間違いを減らすことで新製品を市場に出す時間を短縮出来ます。

ニュージャージー ローレンスビル(2008年5月29日) - RosettaNetは取引相手との新設計、設計変更及び技術詳細情報を、自動化された電子書式にてほぼリアルタイムにやり取りすることにより製造メーカーが製品を市場に出す速度を上げることを助ける新しい標準を今日発表しました。

新技術情報管理(EIM)標準は設計スペックが文書と同じ形で、より速く正確にやり取り出来る様にします。このEIM標準を使うことにより全ての文書のやり取りは一体化され、全ての情報が一ヶ所で同一書式で見付けられますからビジネスプロセスが簡素化し、手作業による紙ベースの書式が無くなりそれによる間違いを減らせることとなります。

EIM標準の開発はソニー、東芝、NEC、富士通、タイコエレクトロニクス、松下、ルネサステクノロジに代表されるRosettaNetのEC(電子コンポーネンツ)カウンシルが主導しました。

「EIM標準は技術情報管理に柔軟性、改革及びスピードをもたらしました」とEIMマイルストーンプログラムディレクターの佐藤一巳氏は言いました。「これにより新製品を早く市場に出すことが出来、プレミア価格を得ることが出来るでしょう」

RosettaNet標準は取引相手とRosettaNetのPIPを使うことにより共通言語として簡単にそして自動的に末端から末端までのビジネスプロセスをやり取りすることが出来ます。EIM標準は一貫して開発を継続するXMLスキーマ構造のPIPにより創られPIPのある一つの局面のみを変更するだけなので、技術プロセスに変更や改革が新たに起こっても新たなPIPを開発する必要が無いのです。

「我々の会員企業は合理化されたビジネスプロセスを作り実装するのでハイテク業界で最も効率の高いサプライチェーンと技術情報管理標準を運用していることがこの専門技術の直接の成果です」RosettaNet社長のクレメント エルハード氏は言います。「標準を使う企業は、全ての製造プロセスに於いて全ての取引相手の設計スペックと改革が調整されることにより真の競争での有利性を得ることが出来ます。設計プロセス中の設計情報交換は複雑ですがこの新しい標準はその簡素化を行えます。」

注意: 本資料は、RosettaNet の Web <http://www.rosettanet.org/cms/sites/RosettaNet/RosettaNet.pdf> に掲載された 5 月 29 日発表の参考翻訳です。詳細に関しては原文を参照下さい。